倭文庫三拾一編

嘉永八年
乙卯孟陽
新刻

へ13
3785
61

上

倭文庫

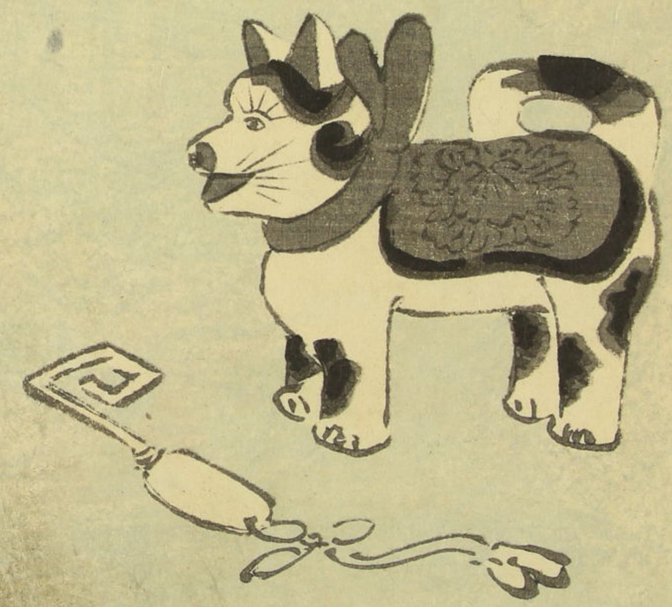
三拾一編

上之巻

門へ13
號 3405
61 62 63

万亭應賀作
一壽齋國貞画

江戸人形町通
上州屋重藏梓



倭文庫三拾壹編序

釋迦八相倭文庫三拾壹編序

夫貪人ハ積聚多く得ども猶足を不生無明顛倒の心常に他と侵損せんとと念現在ゆへ怨憎ヨヌく身を捨て悪道ゆ墮をもも試ふとれ金言ゆるかゆ恐慎むべをとるりされば舎衛國の長者須達ゲ事ハ諸書ゆ数説ゆして小紙ゆヨヌ書を挙ゲけきハ後ゆ其二三を摸擬して長者の婢女末利夫人と五不男の果にりとつき都提の為ゆ摩迦加葉の名を仮そゆの稗史神儒佛道のこををなんどて作出せる本文ゆ面白かるざる巻すくあるべ一是流行を宗とせば只勧善の道を立るゲ故ゑ諸君その素ホるを見捨ずとるれと爾云

嘉永八乙卯年正月吉辰

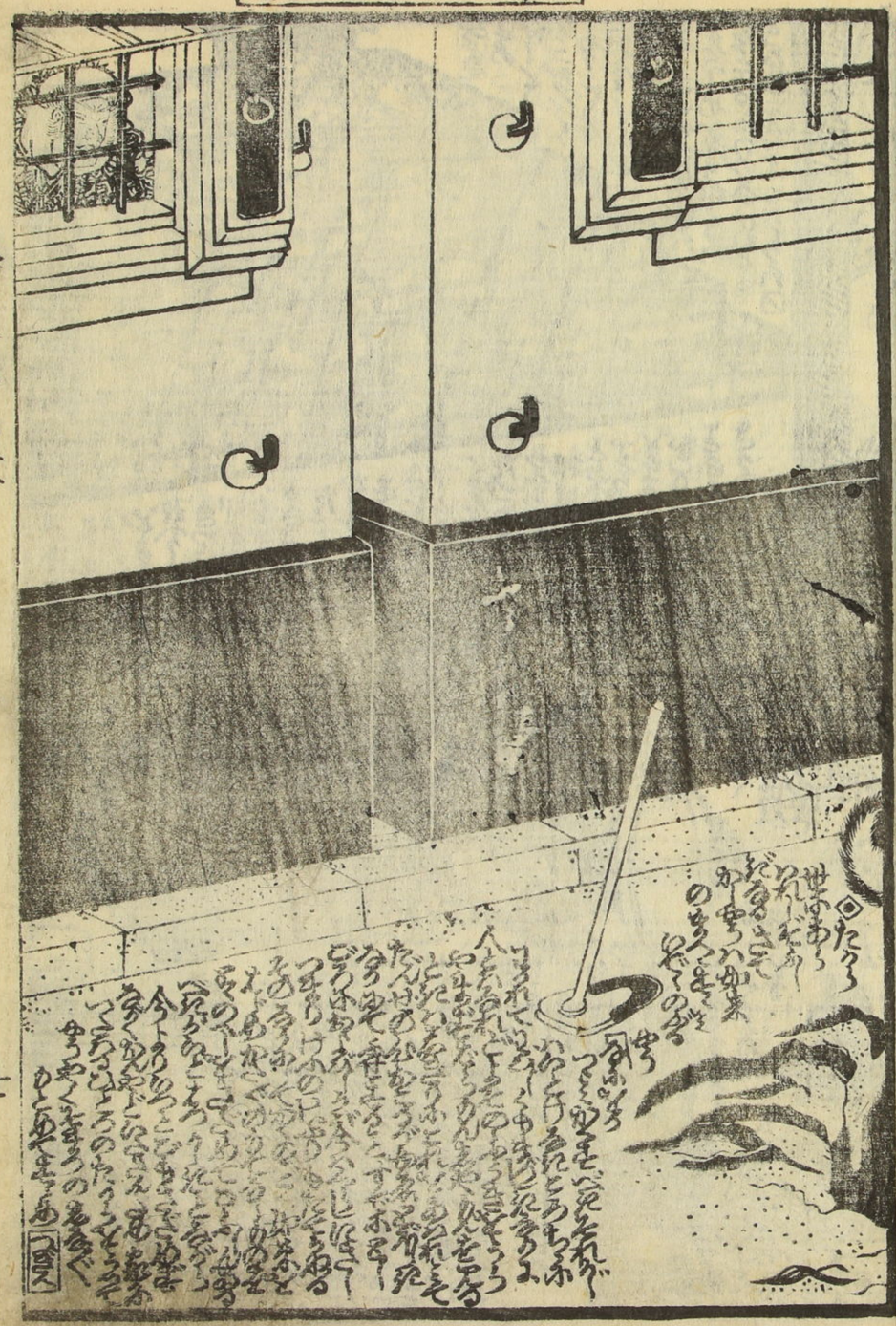
万亭應賀誌

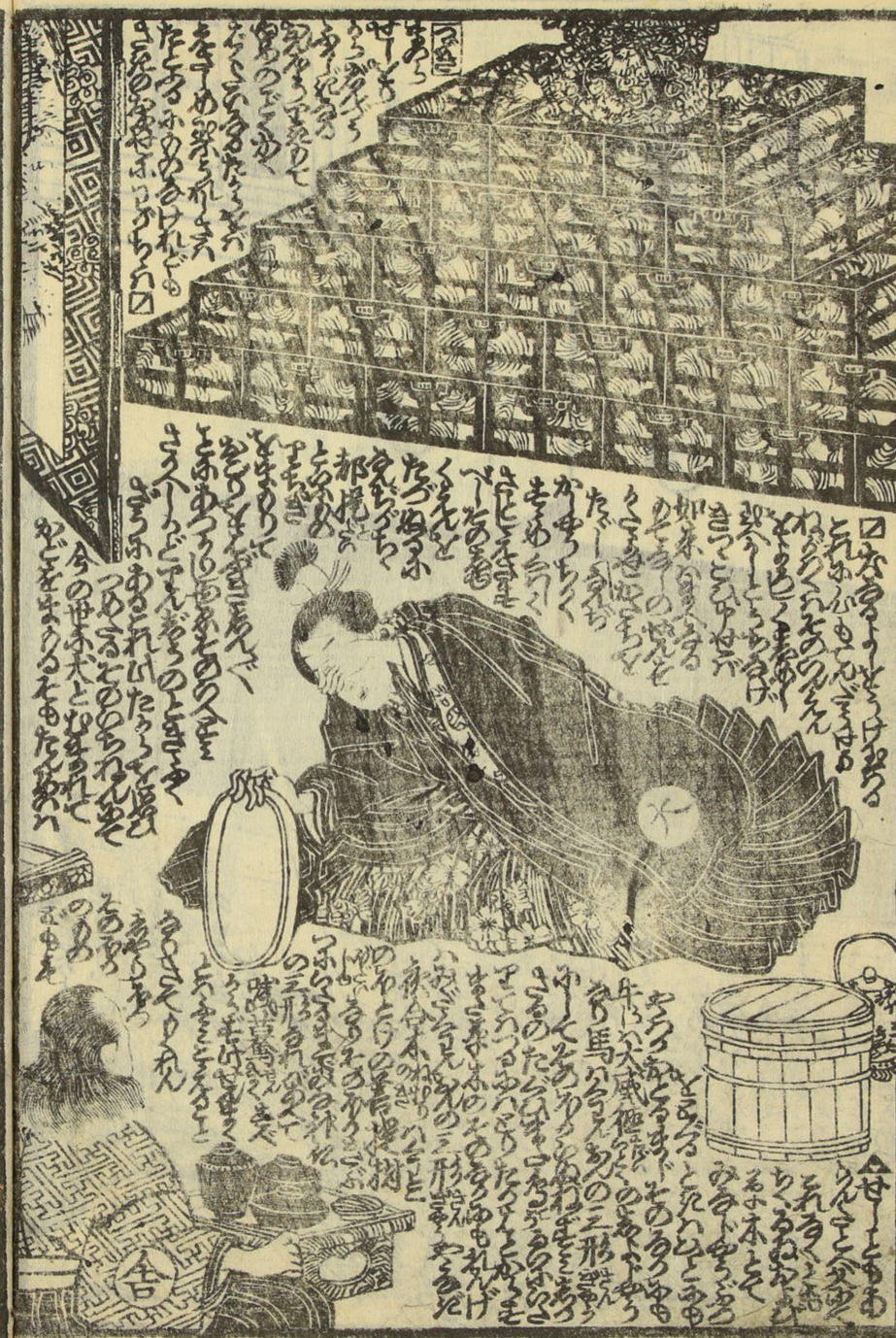
如来
舎利弗

如来舎衛國の摩訶迦葉の家を都提ゲ伏藏の黄金を掘せて須達長者ハ前世を語りさとす
須達長者
大迦葉

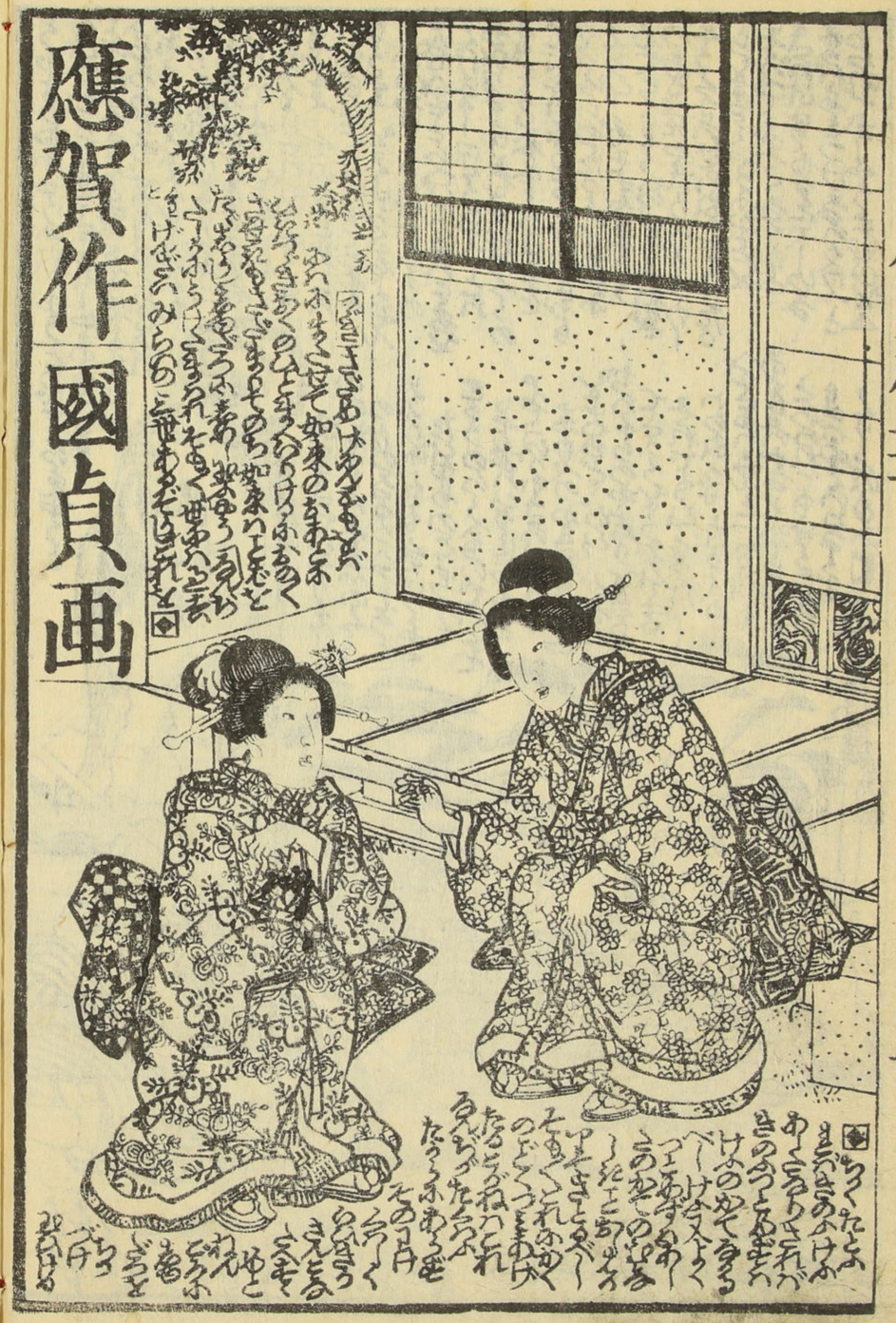
須達長者の炊女
末利夫人
波斯匿王の后ふ召れて入内の砌
前世の仇人
五人の扇提羅ふ玉の輿を舁き

如
目
大





應賀作　國貞画



安政三年丙辰春新板目録

倭文庫　三十四編　三十五編　三十六編　三十七編　万亭應賀作　一陽齋豊國画

赤松譚　九編　十編　如淵外史作　同画

重井菱　六編　七編　為永春水作　同画

譚柄璃璃蘇　四編　五編　西澤一鳳作　一勇齋國芳画

茶番案文　全冊　万亭應賀作　一陽齋豊國画

神代そろは　三編　四編　同　一勇齋國芳画

金重本類錦繪人形　上州屋重藏